

2016年3月期 上半期決算の概況

2015年10月22日(木)
モーニングスター株式会社
代表取締役社長 朝倉 智也

Part 1

連結決算 & グループ各社の概況

連結業績

当期利益は42.0%の大幅な増益を達成
営業利益と経常利益は上半期として6期連続の増益、4期連続の最高益を更新

(単位:千円)

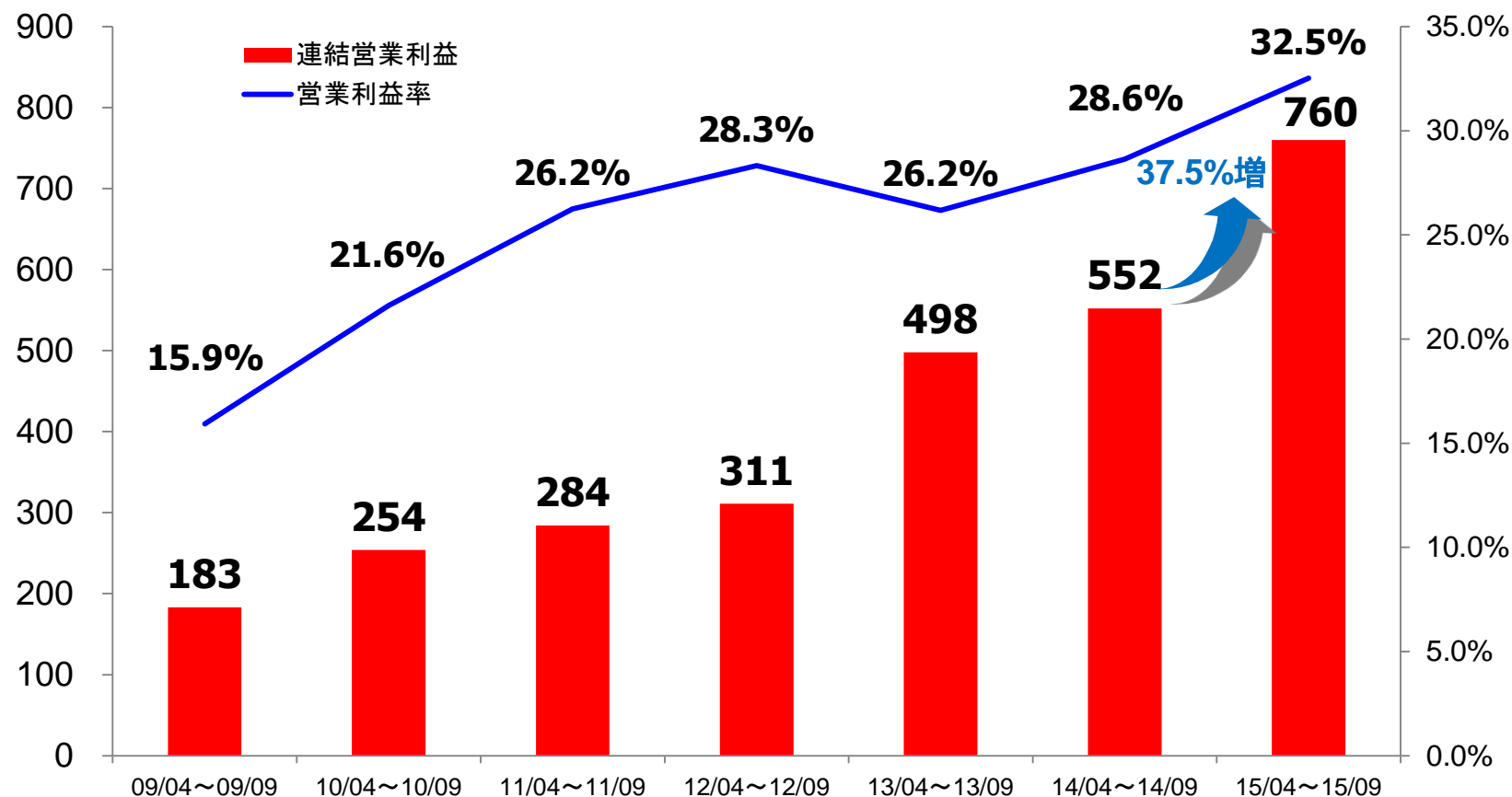
	2015年3月期 上半期 (2014年4月～9月)		2016年3月期 上半期 (2015年4月～9月)		増減率 (%)
	金額	利益率 (%)	金額	利益率 (%)	
売上高	1,930,980	—	2,337,579	—	21.1
営業利益	552,983	28.6	760,321	32.5	37.5
経常利益	563,779	29.2	762,156	32.6	35.2
当期利益	353,970	18.3	502,511	21.5	42.0

(注) 当期利益も6期連続増益で、子会社ゴメス・コンサルティングの上場の際に特別利益330百万円を計上した2007年上半期の利益を超えて、最高益を更新。

上半期の連結営業利益の推移

- 6期連続の増益、6期前に比べ約4.2倍に拡大
- 営業利益率は、32.5%に向上

(単位:百万円)



主要なサービス別の売上高増減

(単位:千円)

サービス名称	2015年3月期 上半期 (2014年4月～9月)	2016年3月期 上半期 (2015年4月～9月)	増減率 (%)
ファンドデータ (モーニングスター)			
(タブレット)	79,366	141,462	78.2%
(その他)	190,896	188,313	-1.4%
合計	270,262	329,776	22.0%
メディア・ソリューション (モーニングスター:ウェブ広告&セミナー)	269,638	302,807	12.3%
ファンド分析レポート (モーニングスター)	101,153	120,873	19.5%
運用受託報酬 (SBIアセットマネジメント)	617,600	902,477	46.1%
Webコンサルティング (モーニングスター(コムス))	93,746	128,922	37.5%
マネールック (イー・アド・バイザー)	28,206	54,820	94.4%
新聞購読料 (モーニングスター)			
(新聞)	142,725	135,908	-4.8%
(Web版)	21,518	22,284	3.6%
合計	164,244	158,192	-3.7%
サーチナ・メディア(モーニングスター)	171,360	151,411	-11.6%

モーニングスター単体の業績

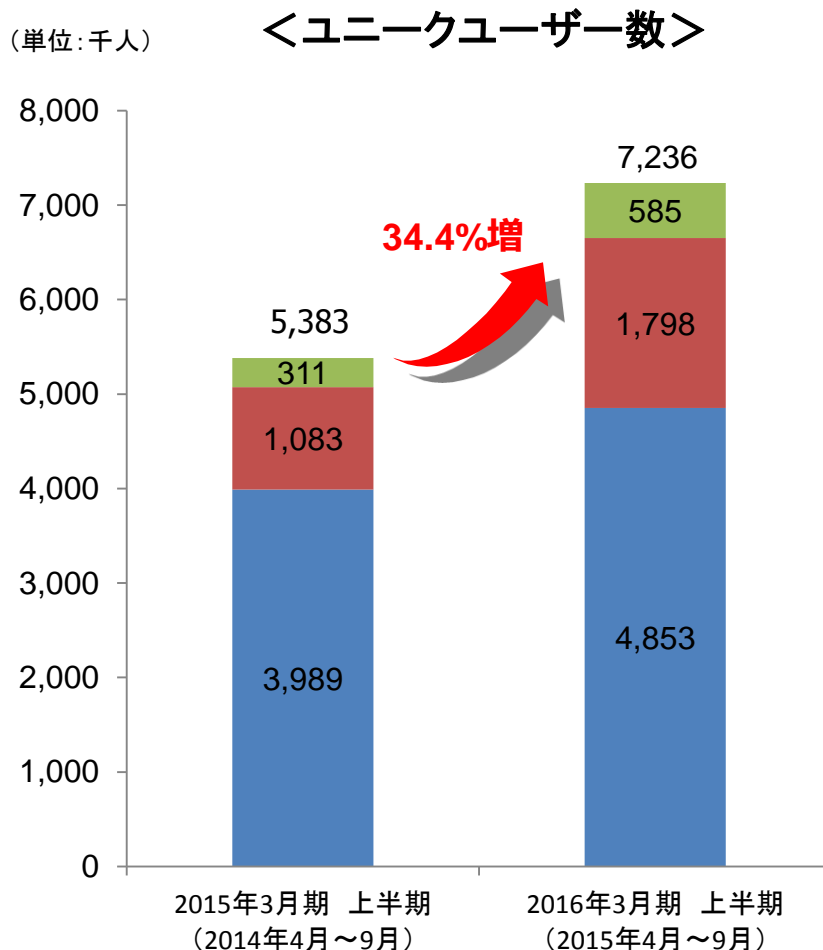
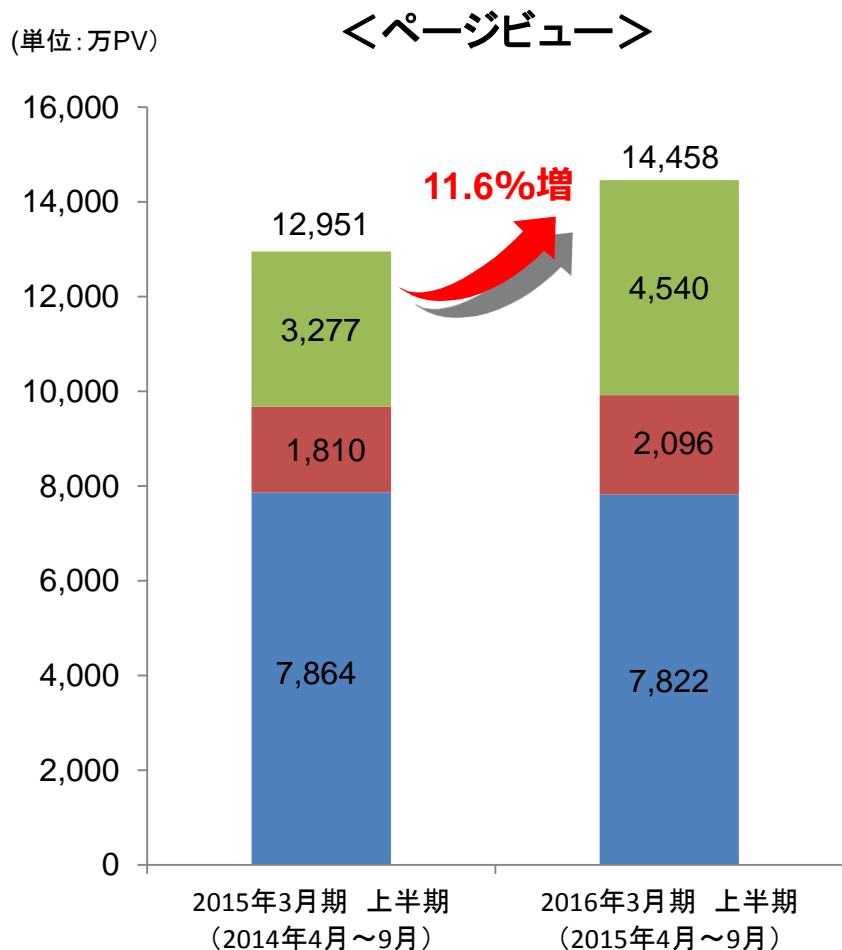
(単位:千円)

	2015年3月期 上半期 (2014年4月～9月)	2016年3月期 上半期 (2015年4月～9月)	増減率(%)
売上高	1,151,903	1,391,449	20.8
営業利益	419,313	519,578	23.9
経常利益	422,194	519,688	23.1
当期利益	363,548	338,110	△7.0

※当期利益は、前年の上半期にSBIサーチナ(株)を吸収合併した際、特別利益の93百万円が計上されており、その影響で前年同期比はマイナスとなった。

ウェブサイトのページビューとユニークユーザー数の推移

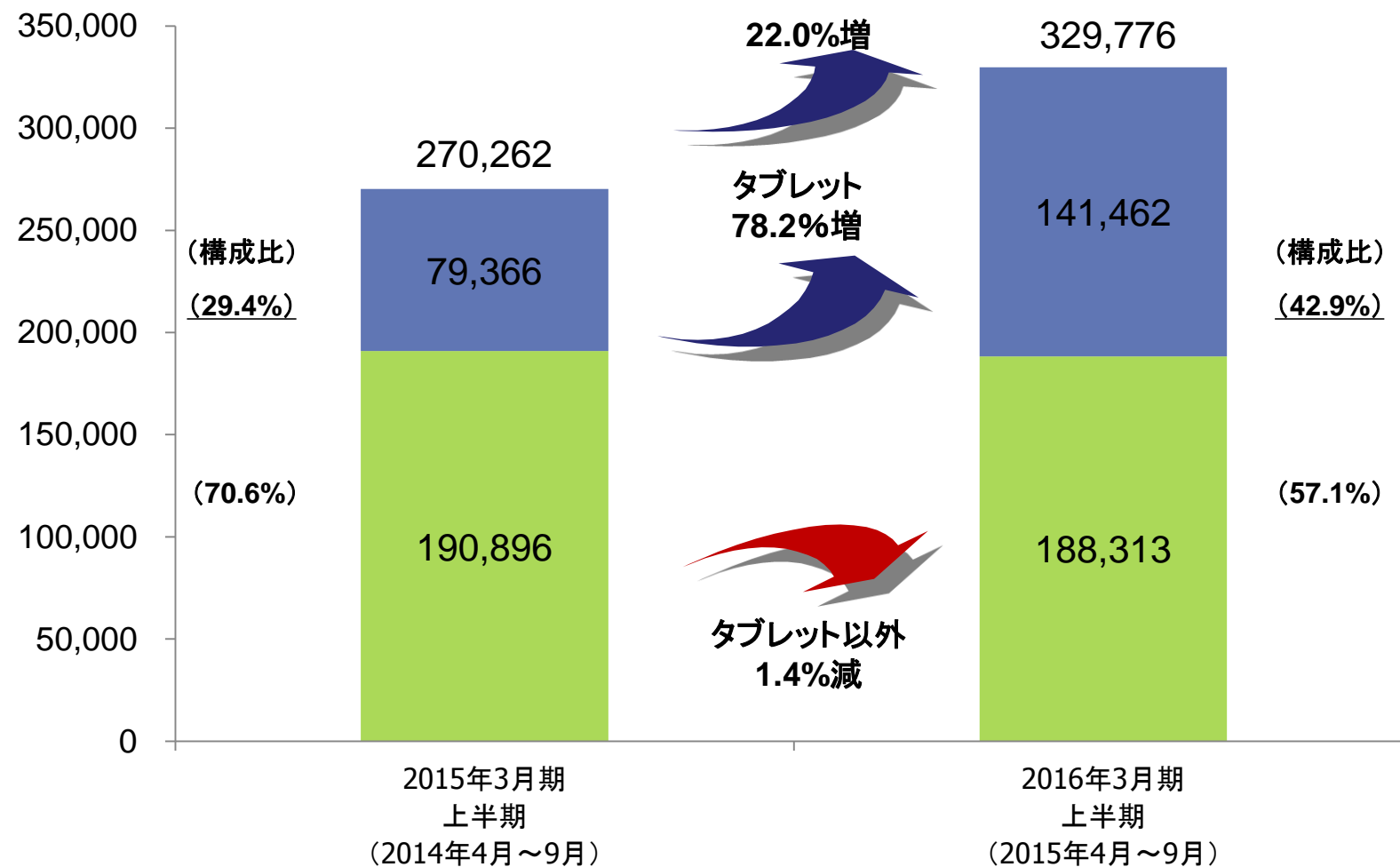
■ PCサイト ■ スマホサイト ■ スマホアプリ



拡大を続けるタブレットアプリの売上高

ファンドデータの売上高

(単位: 千円)



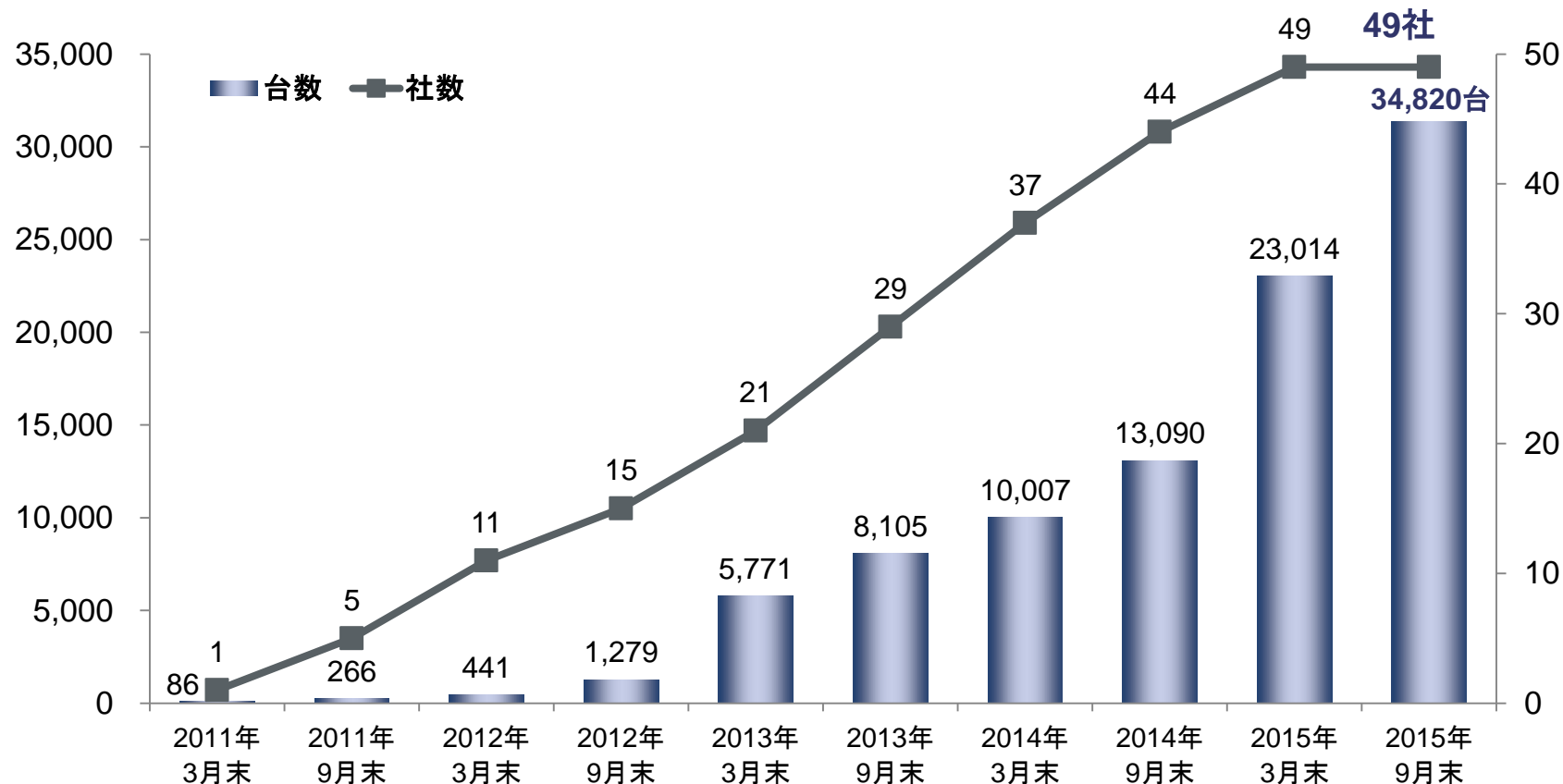
タブレットアプリの提供社数と台数

49社 34,820台導入済
(2015年9月末)

(単位:台数)

提供台数は前年同期末から約2.7倍！

(単位:社数)

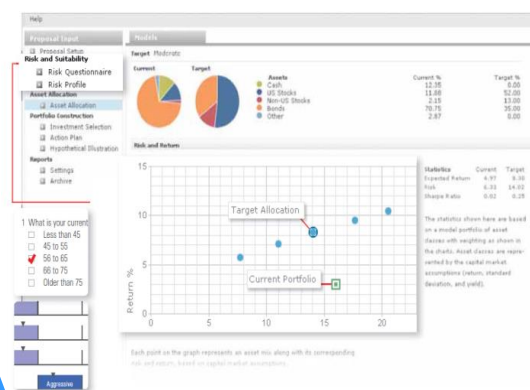


米国モーニングスターで開発済のアドバイズツールをローカライズしてタブレットに搭載

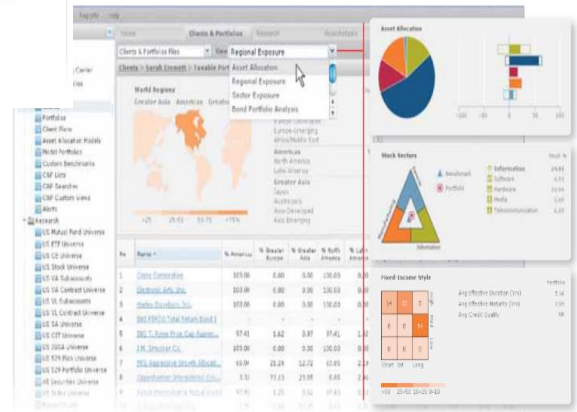
米国で15万人の独立系FPが営業で活用している業界シェアNo.1ツール

新しいモデルポートフォリオの提示

顧客のポートフォリオ分析



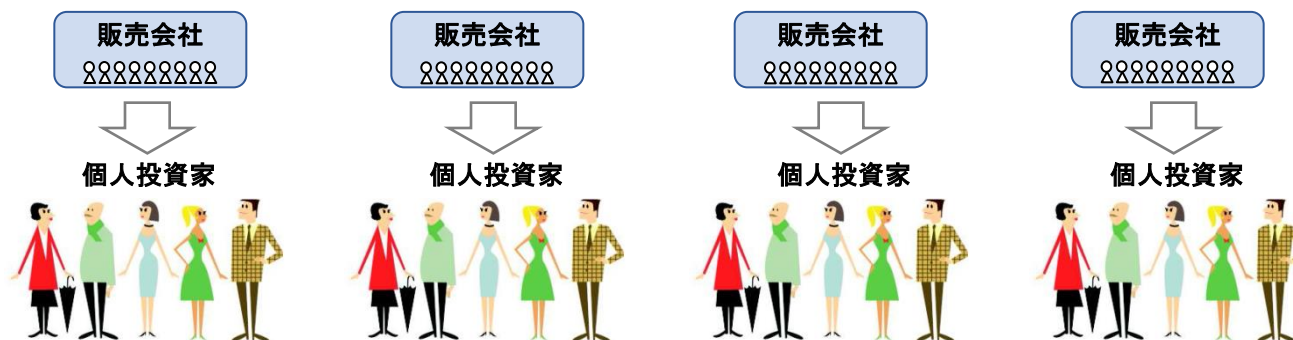
構築後の顧客ポートフォリオのモニタリング



タブレットを中核としたマルチデバイスによるデータの提供



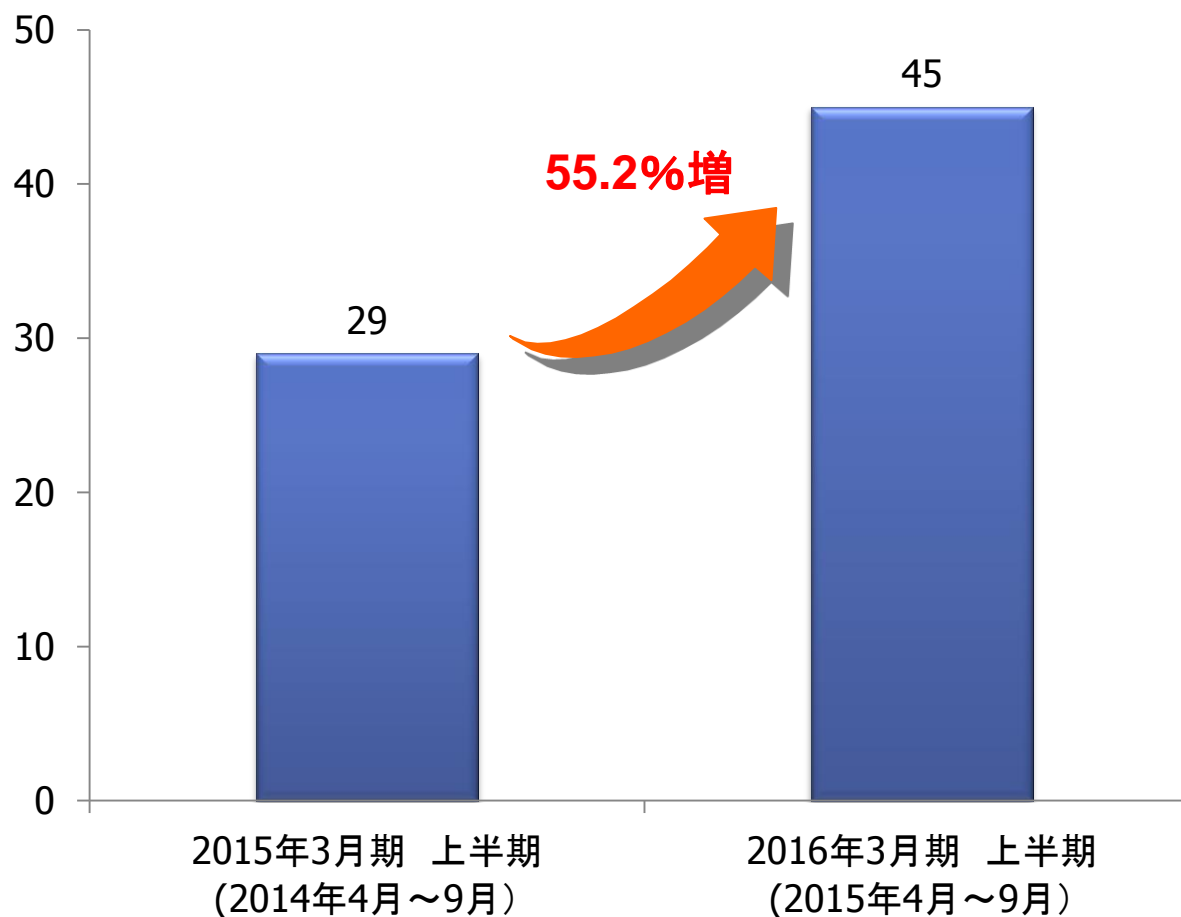
各金融機関にマルチデバイスでコンテンツを提供



需要が拡大するファンド分析レポート

ファンド分析レポートの提供本数

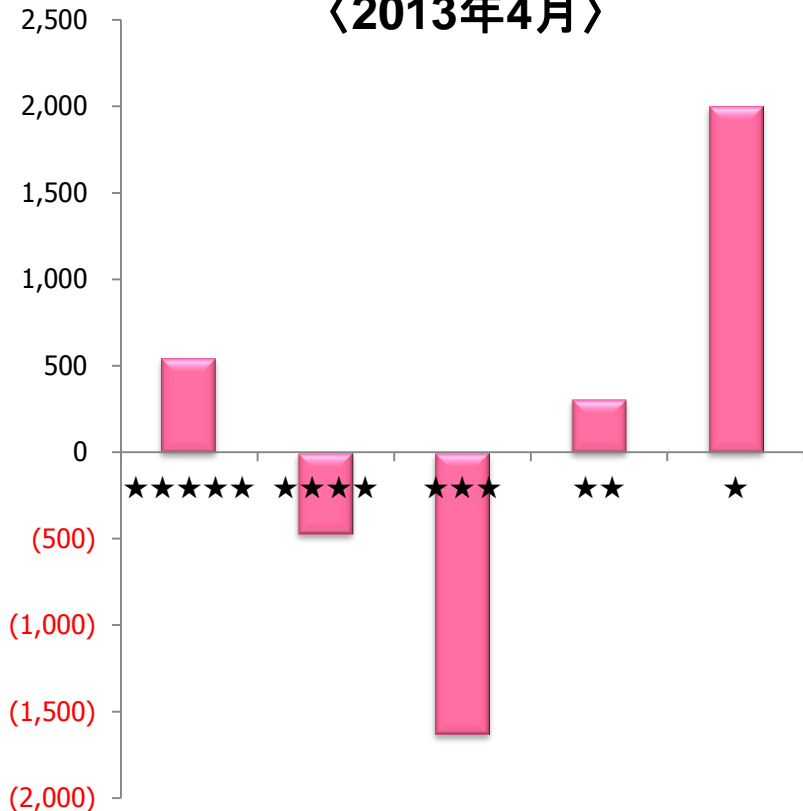
(単位:本)



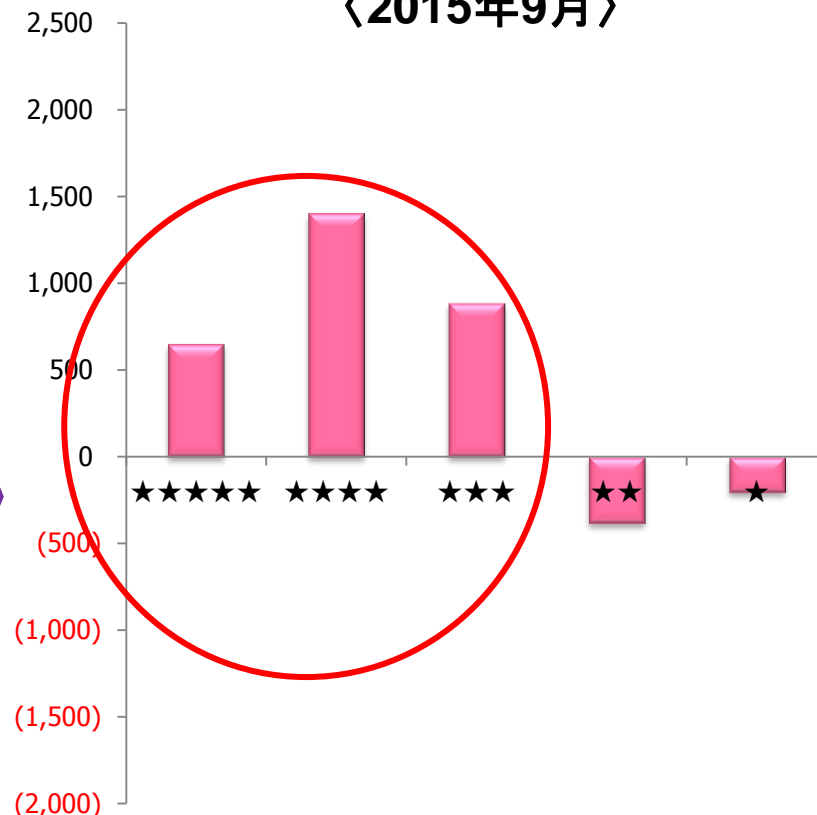
モーニングスターのレーティングの高いファンドに 資金流入が拡大

(単位:億円)

〈2013年4月〉



〈2015年9月〉



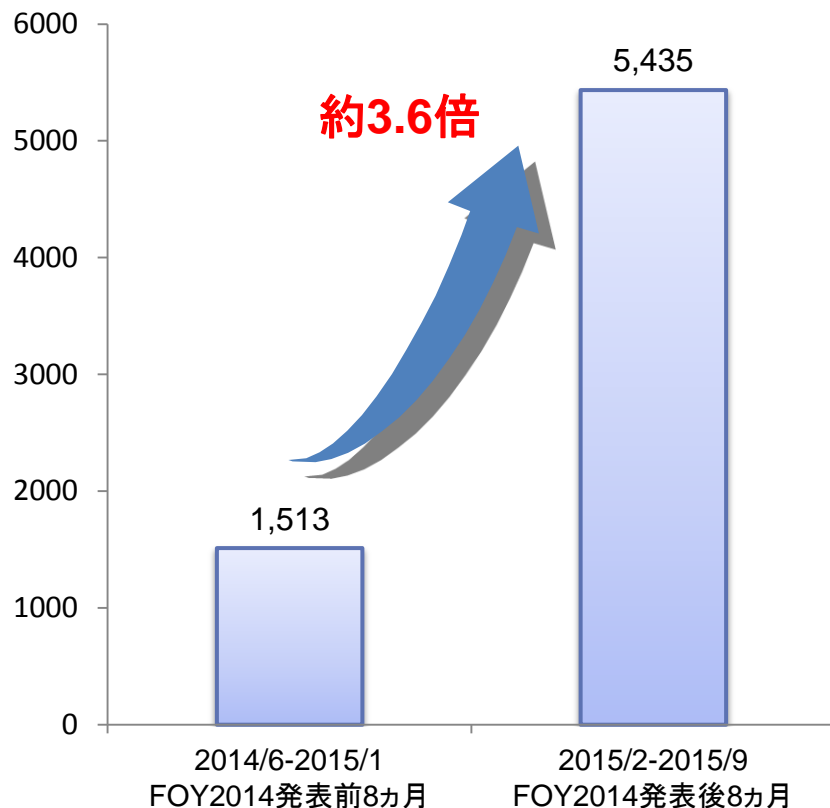
金融庁「金融・資本市場活性化有識者会合意見書」(2015年6月30日)から抜粋。

投資信託の評価情報は、各商品の収益力やリスク度合いを相対的・客観的に認識するために有効であり、顧客にとっての最適な商品・サービスの選択を容易にする観点から積極的な活用が期待される。

モーニングスターのFOY(ファンド・オブ・ザ・イヤー)に 資金流入が拡大

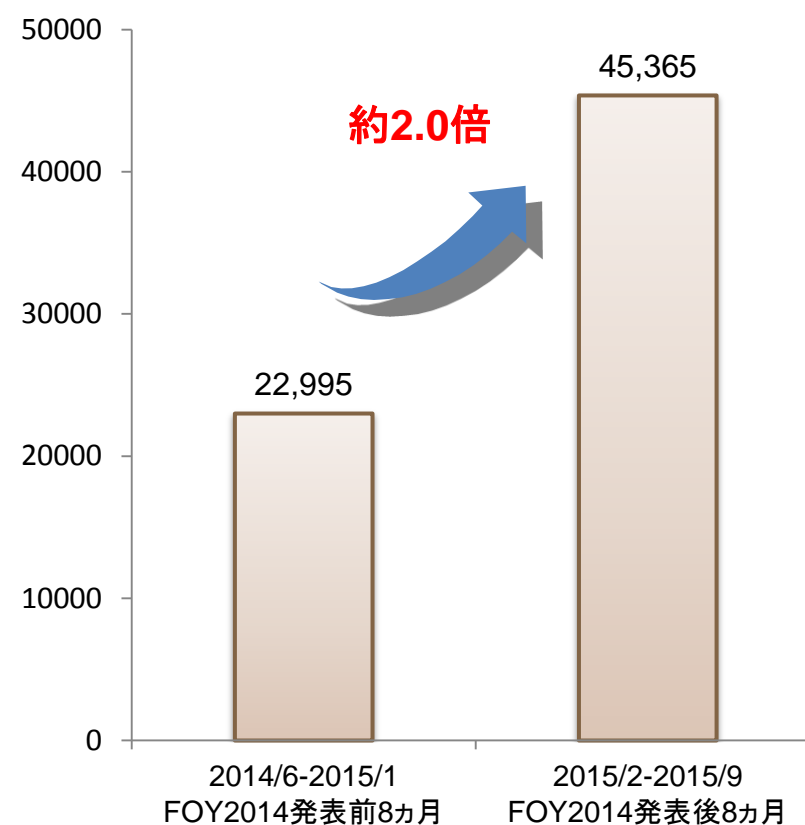
＜FOY2014 最優秀受賞ファンドの
純資金流入額＞

(単位: 億円)

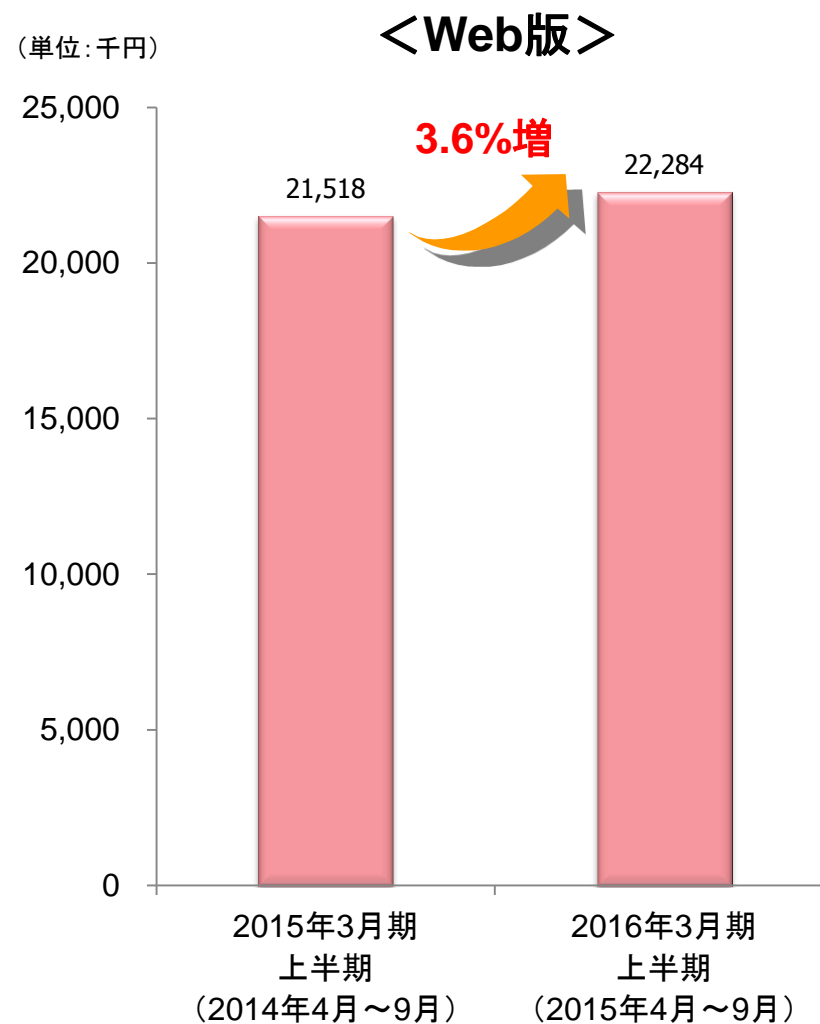
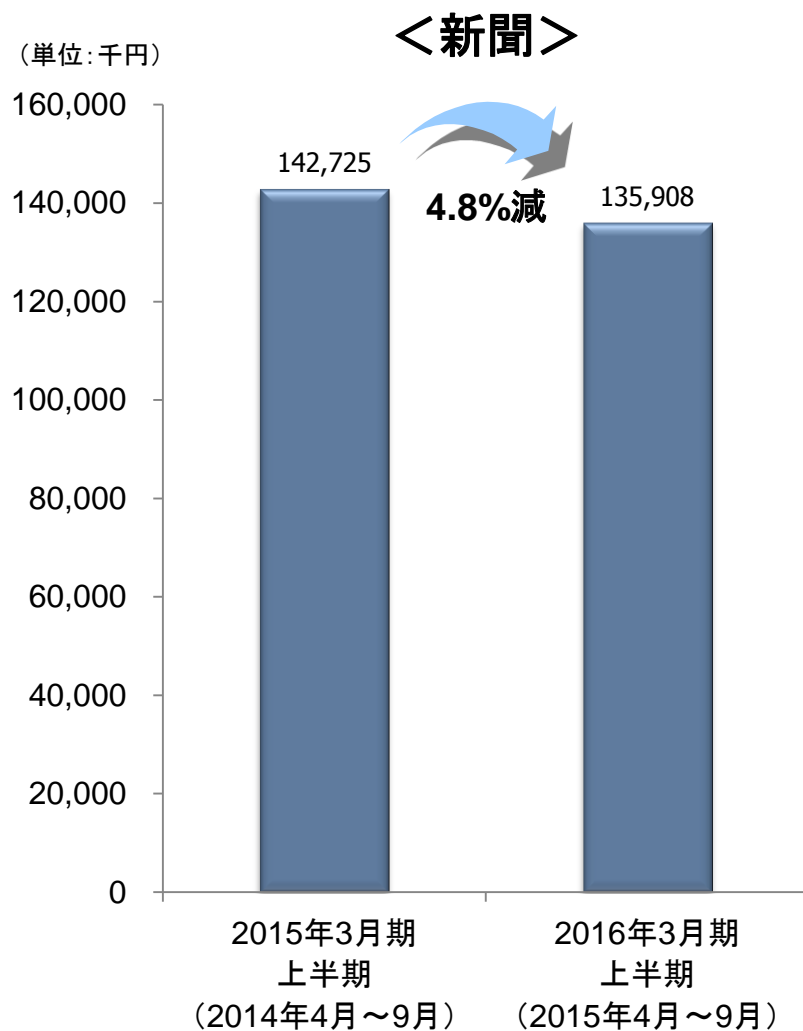


＜公募株式投信全体の
純資金流入額＞

(単位: 億円)



株式新聞のWeb版は堅調に推移



ゴメス・コンサルティング事業の業績

スマートフォンやタブレット端末向けのウェブコンサルティング業務が好調に推移し、大幅な増収増益を達成

(単位:千円)

	2015年3月期 上半期 (2014年4月～9月)	2016年3月期 上半期 (2015年4月～9月)	増減率 (%)
売上高	93,746	128,922	37.5
営業利益	20,673	31,115	50.5

サーチナ・メディア事業の業績

- 2014年9月にモーニングスターに吸収合併
- システム関連コストや人件費及び管理費等のコスト削減効果で営業利益は34.7%増

(単位:千円)

	2015年3月期 上半期 (2014年4月～9月)	2016年3月期 上半期 (2015年4月～9月)	増減率 (%)
売上高	171,360	151,411	△11.6
営業利益	47,197	63,552	34.7

※SBIサーチナは2014年9月1日付で、モーニングスターに吸収合併
2015年3月期上半期のSBIサーチナは、SBIサーチナの5カ月間の営業利益とモーニングスター(サーチナ・メディア事業部)の1カ月間の営業利益を合計した数値

イー・アドバイザーの業績

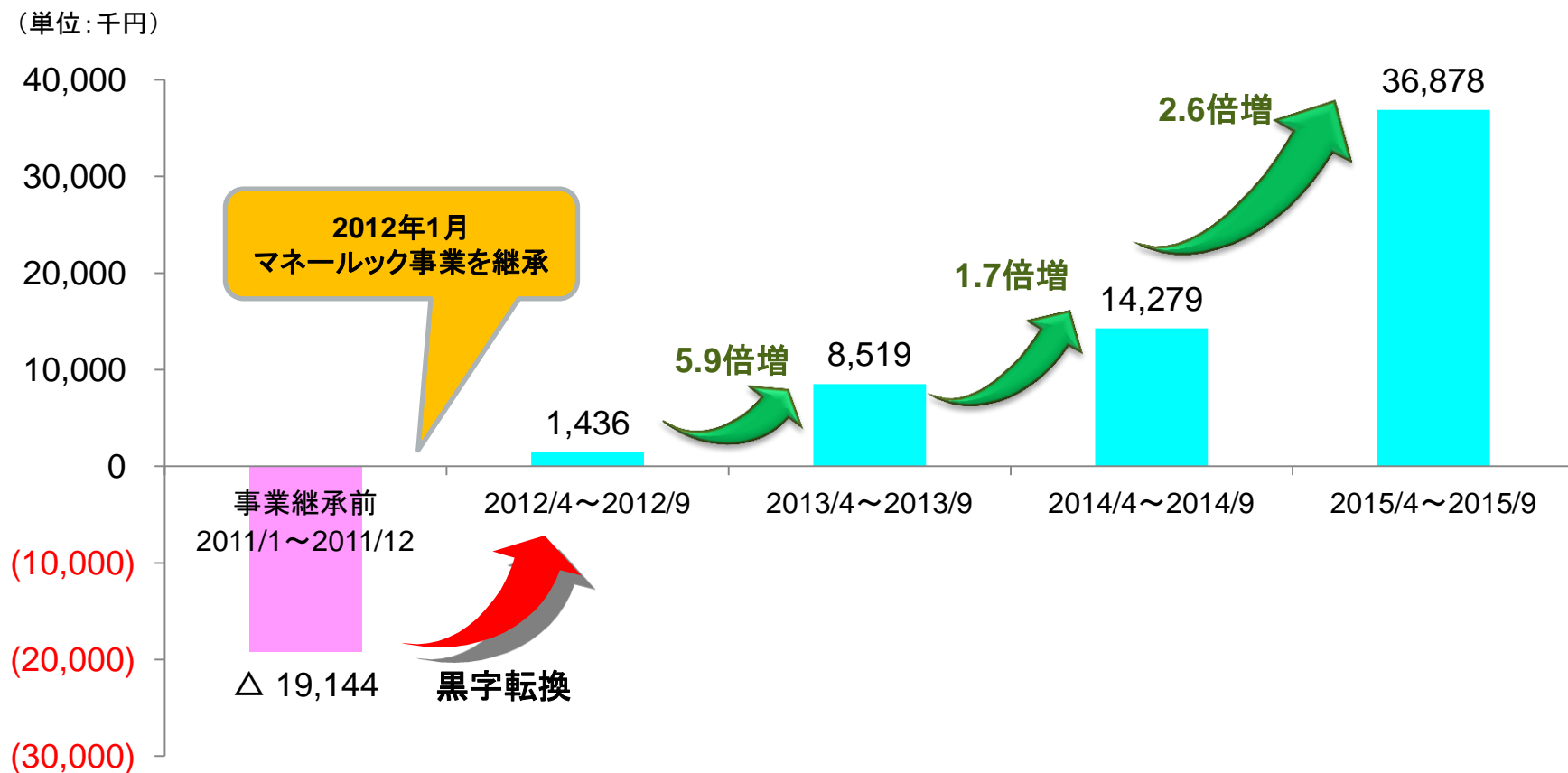
「マネールック」の広告及びASPサービスが拡大
全ての利益項目で約2.5倍の大幅増益を達成

(単位:千円)

	2015年3月期 上半期 (2014年4月～9月)	2016年3月期 上半期 (2015年4月～9月)	増減率
売上高	28,206	54,820	94.4%
営業利益	14,279	36,878	2.58倍
経常利益	15,162	36,801	2.43倍
当期利益	9,558	23,794	2.49倍

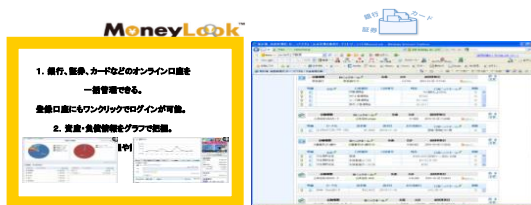
イー・アドバイザーの上半期の営業利益の推移

事業継承(2012年1月)以来、急速に業績が回復



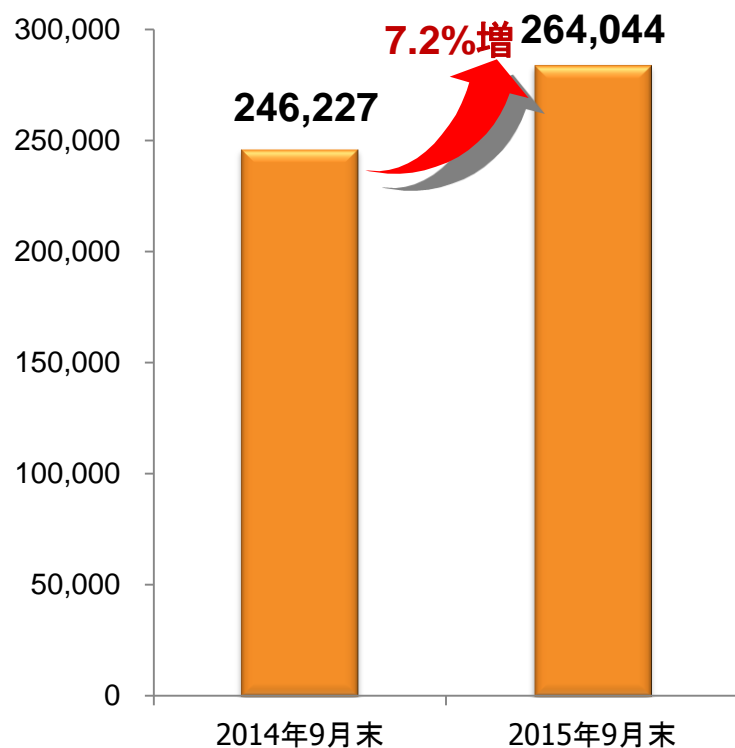
※ イー・アドバイザー株式会社が、SBIホールディングス株式会社からマネールック事業を継承した時点(2012年1月1日)での、同事業に関わる営業利益を比較のために掲載。

拡大する「マネールック」の会員数



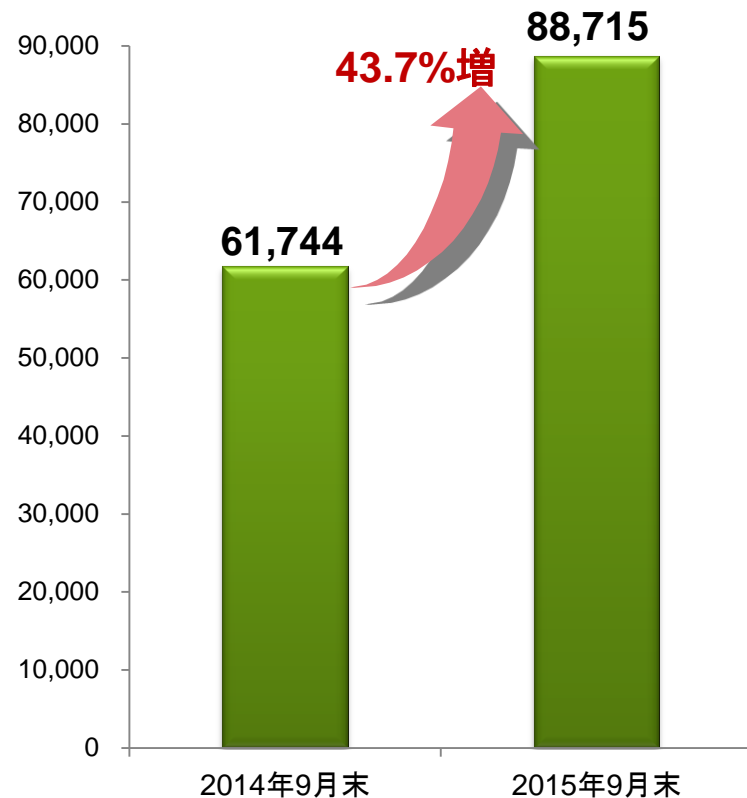
〈WEB版のユーザー数〉

(単位:人)



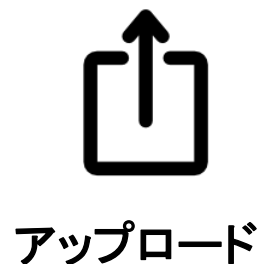
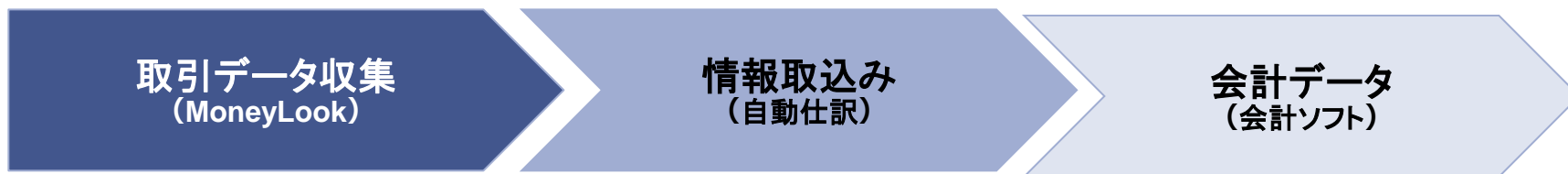
〈スマートフォンのユーザー数〉

(単位:人)



「マネールック」と会計ソフトとの連携イメージ

通帳記帳により現預金のデータを手入力していた作業を
自動化するために「マネールック」を活用



アカウントアグリゲーション機能で
資産情報を収集。

専用ツール等を介して収集した
資産情報を会計ソフトに取込み。

資産情報を会計ソフト側で自動仕
訳して反映。

SBIアセットマネジメントの業績

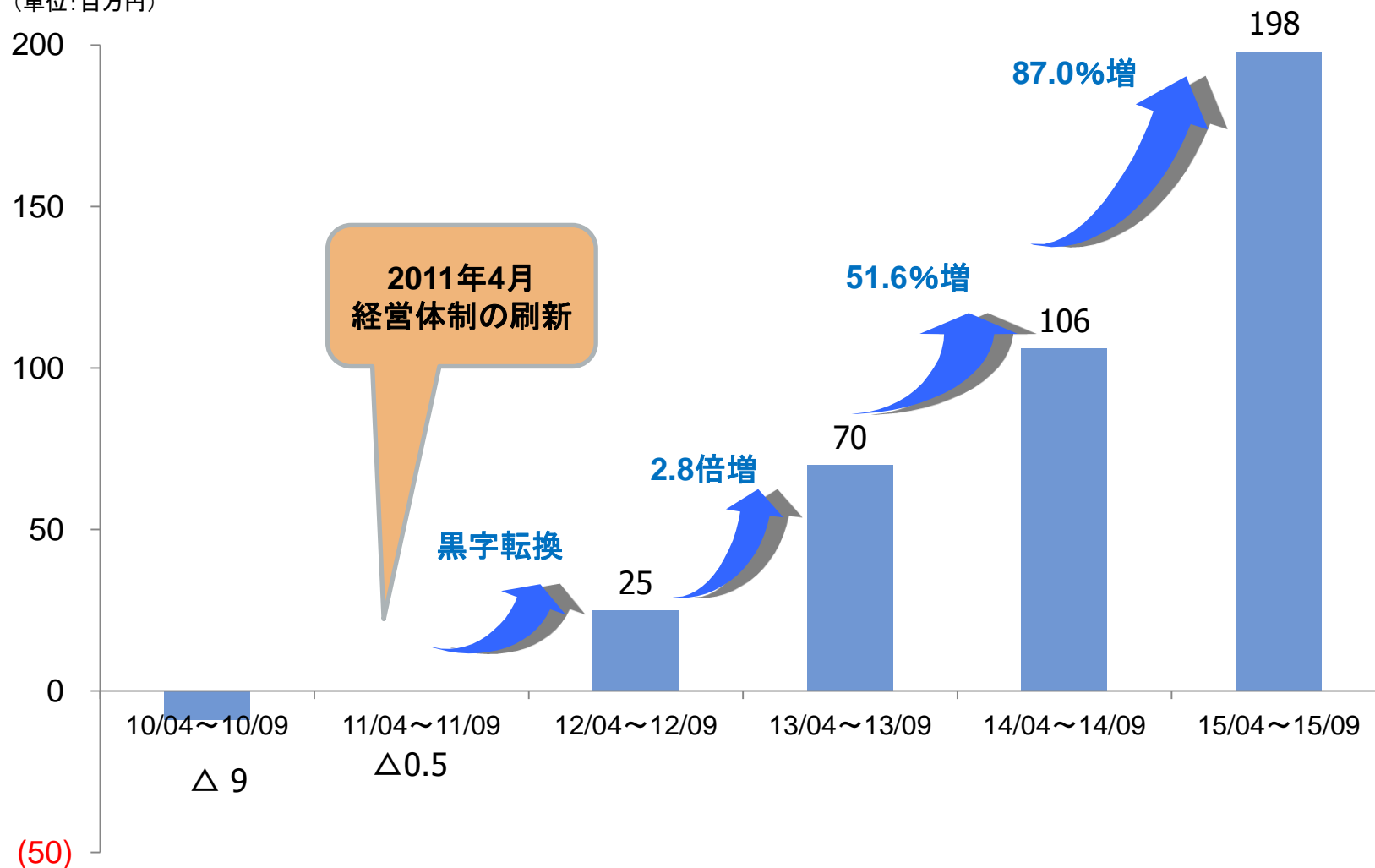
営業利益と経常利益は80%超の増益を達成し、
当期利益は2倍の大幅な増益

(単位:千円)

	2015年3月期 上半期 (2014年4月～9月)	2016年3月期 上半期 (2015年4月～9月)	増減率 (%)
売上高	617,600	902,477	46.1
営業利益	106,255	198,689	87.0
経常利益	106,054	200,023	88.6
当期利益	68,308	136,815	100.3

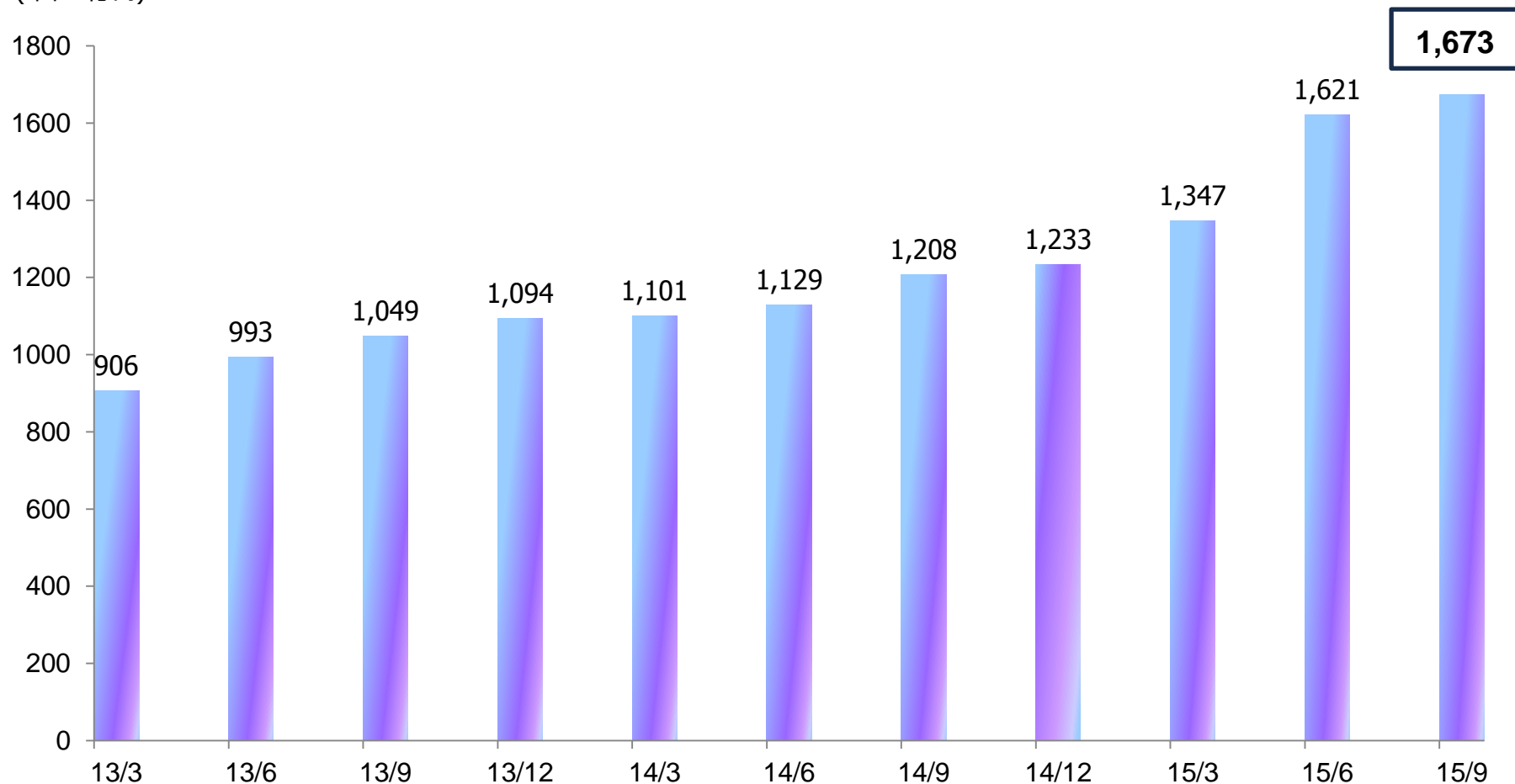
SBIアセットマネジメントの上半期の営業利益の推移

(単位:百万円)



SBIアセットマネジメントの運用残高の推移

(単位: 億円)



SBIアセットマネジメントの主要ファンドの資金流入状況

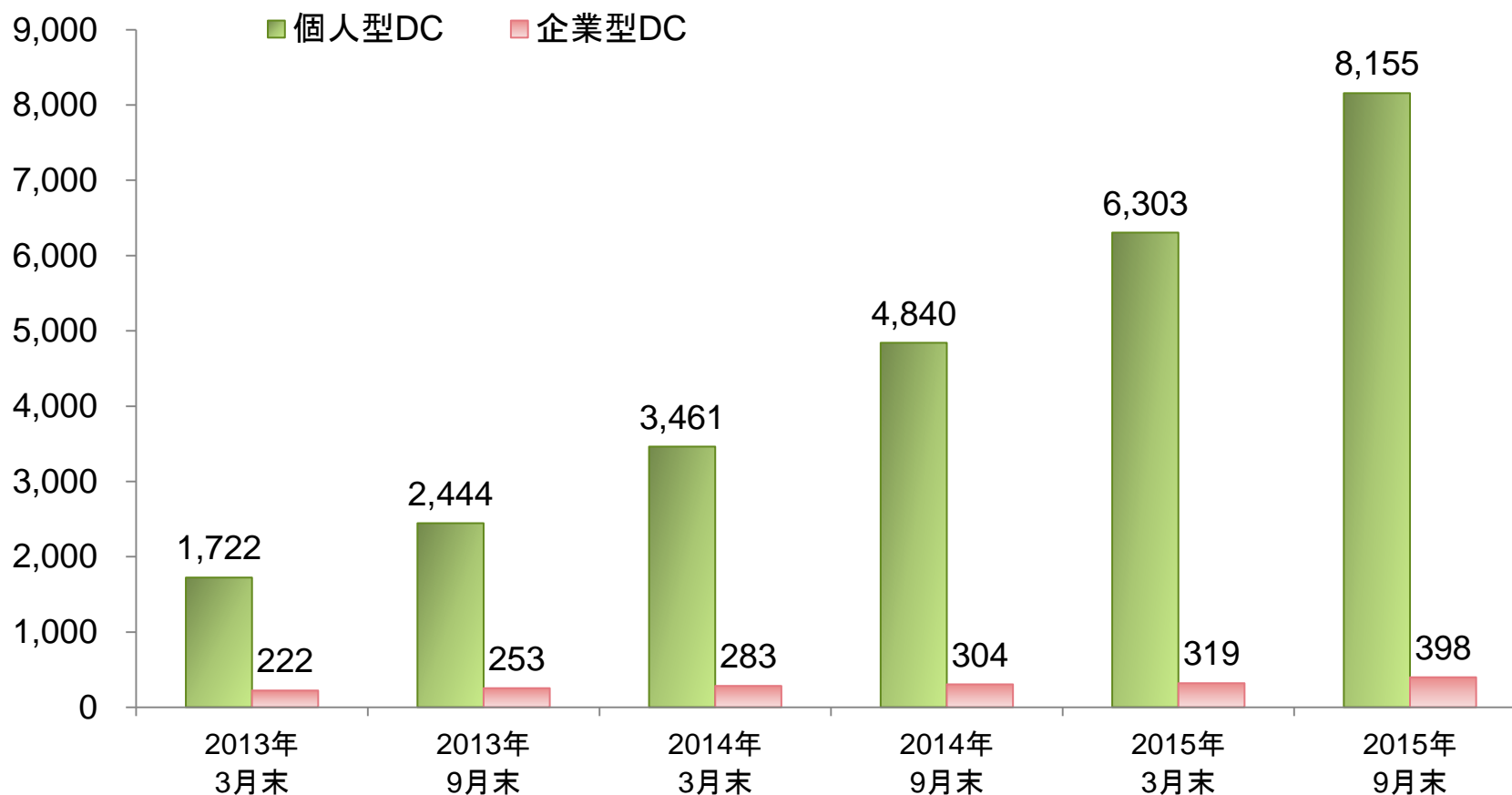
(単位:億円)

順位	ファンド名	2015年4～9月
1	グローバル・リート・トリプル・プレミアム・ファンド	267
2	SBI日本株3.7ブル	251
3	SBI中小型割安成長株ファンド ジェイリバイブ	64
参考	SBIアリアンツ日本株集中投資戦略ファンド (注1) ダイワファンドラップ専用の私募投信のため、参考として記載。 設定日は、2015年9月9日。	110

SBIアセットマネジメント設定の DC(401K)ファンドの残高推移

個人型DCファンドは80億円を越え、前年同期比で68.5%の大幅増
企業型DCも、前年同期比31%増

(単位:百万円)



SBIアセットマネジメントのアワード受賞ファンド

《R&Iファンド大賞 2015》

- ・「投資信託／総合部門」の「国内株式総合」部門において、SBIアセットマネジメントが優秀賞を受賞。
- ・「投資信託」の「国内中小型株式型」部門において、『SBI中小型割安成長株ファンド ジェイリバイブ』が**最優秀ファンド賞**を受賞。



- ・「NISA」の「国内中小型株式型」部門において、『中小型成長株ファンド ネクストジャパン』が**優秀ファンド賞**を受賞。

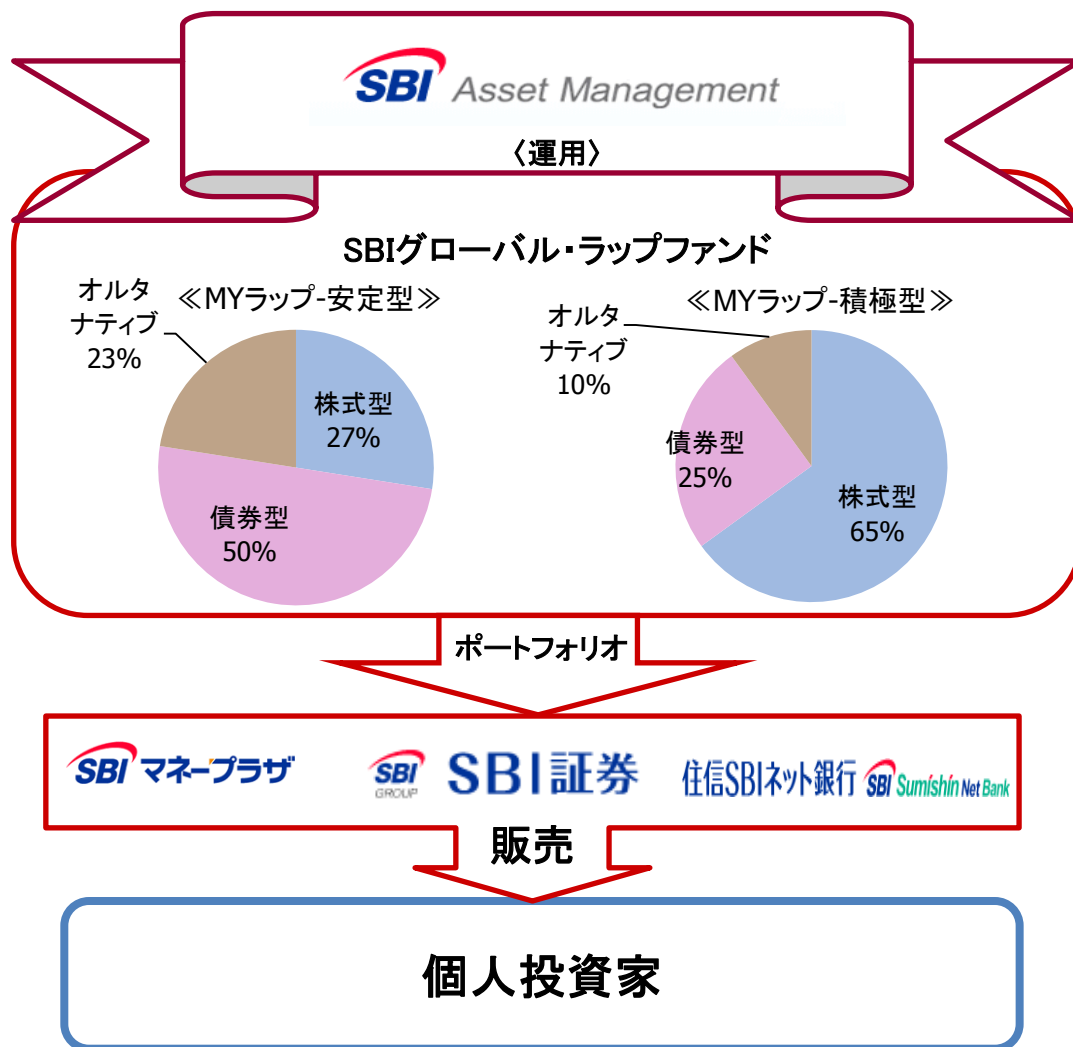


コストを抑えたSBIアセットマネジメントの ターゲットイヤーファンド

ターゲットイヤーファンド(2021～2030)の比較

ファンド名	MHAM ライフナビゲーション 2030	野村 資産設計ファンド 2025	セレブライフ・ストーリー 2025
運用会社名	みずほ	野村	SBIアセット
純資産(百万円)	1,240	875	842
信託報酬等(税込)	1.30%	0.93%	0.71%

SBIグループの総合力を活かした ラップ型ファンドの提供



〈グローバルのファンド・ETFの評価情報〉



投資情報
&
評価データ

投資助言
投資対象ファンドの
選定や投資配分
比率の助言など



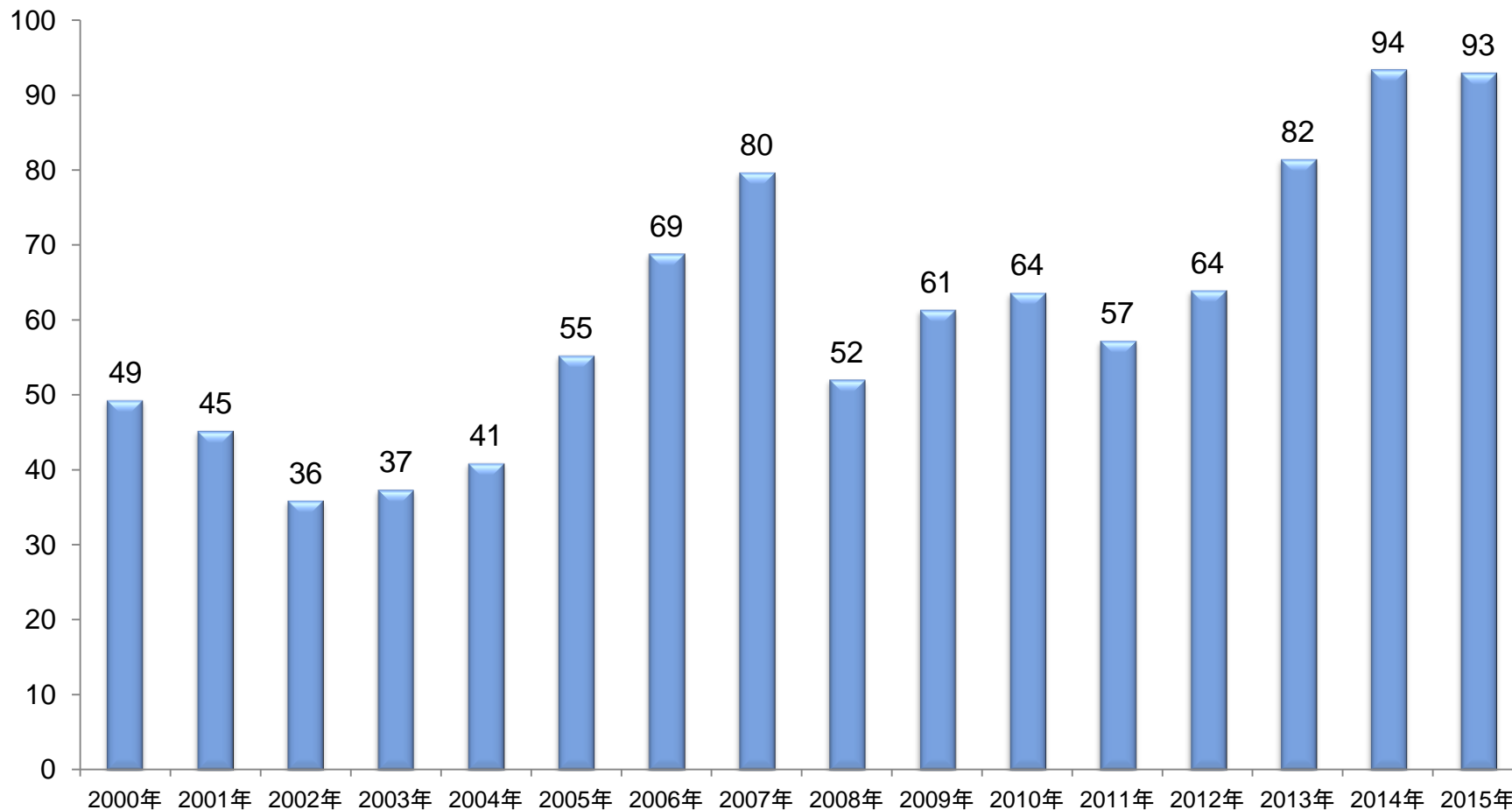
モーニングスター・
アセット・マネジメント

Part 2

事業環境と今後のポテンシャル

国内公募投信の純資産残高推移

(単位:兆円)



※ 出所: 投資信託協会

※ 公募投信は公社債投信も含む

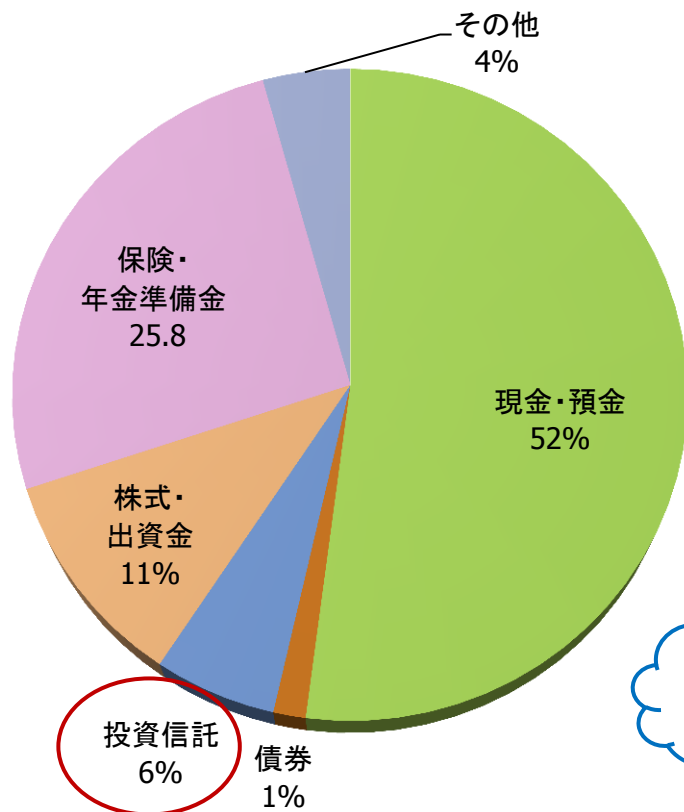
※ 各年は年末の数値、2015年は9月末時点の数値

日米の家計の資産構成比

日本は「貯蓄」から「投資へ」

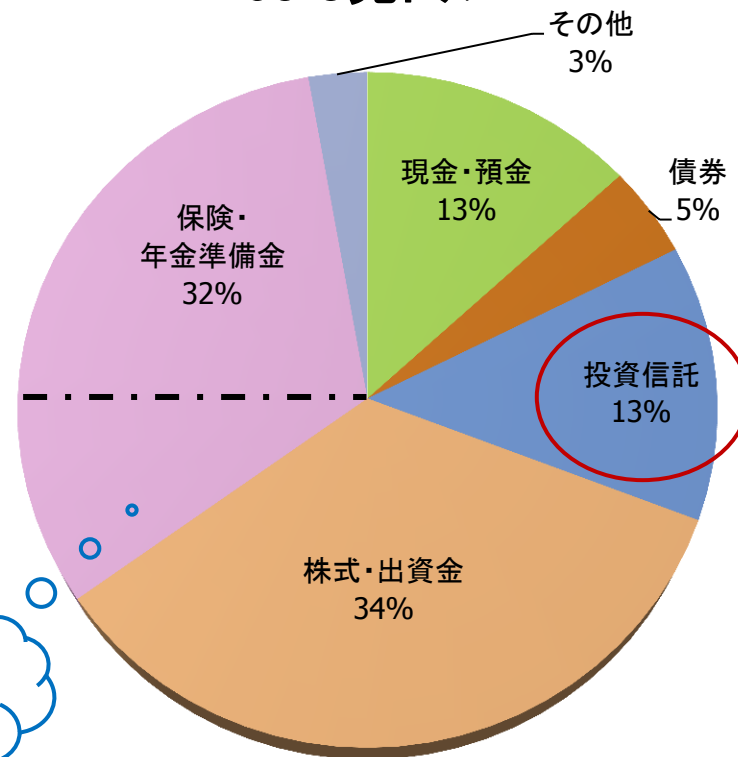
日本

1,717兆円



米国

69.8兆ドル



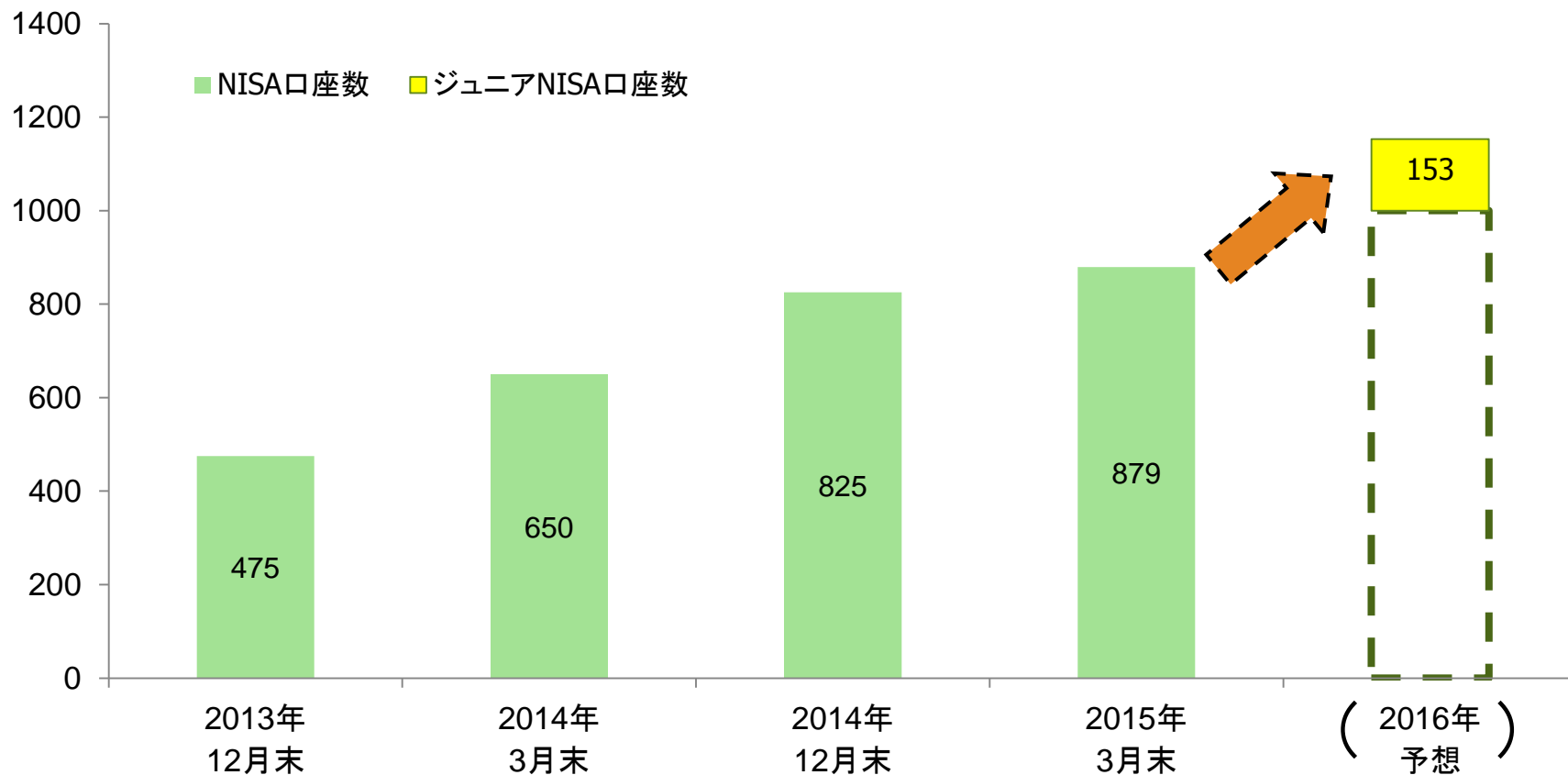
401K
約10%

※ 出所: 日本銀行調査統計局「資金循環の日米欧比較」(2015年9月30日)

更なる拡大が見込まれるNISA市場

2016年から始まるジュニアNISAは当初、約150万口座を見込む

(単位: 万口座)



※出所: 野村アセットマネジメント: 第8回「NISAに関する意識調査」(2015年7月23日)に基づきモーニングスターが作成

職域NISA事業への可能性

職域NISAは福利厚生の一環として、企業が株式や投資信託を扱う金融機関と契約し、社員に対し職場単位で口座を開き、口座振替で積み立てを行う。

- ・職域NISAは、まだNISA口座を持っていない社員が対象となるため対象者のほとんどは投資未経験者となる。
- ・職域NISAは企業型DCのように商品の選択が生じる為、より深い投資関連の知識が必要。



《従業員へのサポート》

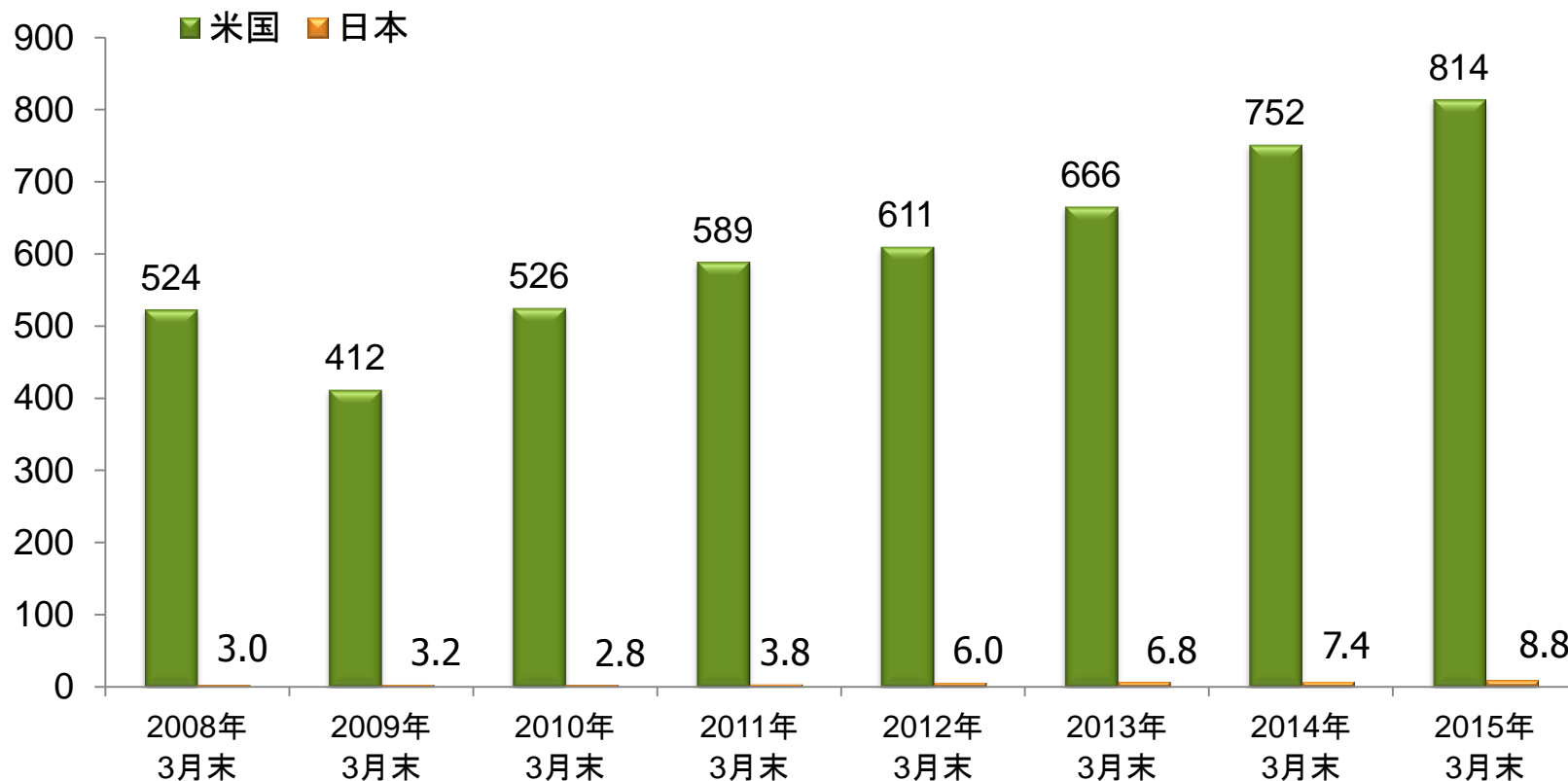
- ・イーラーニングのツールやセミナーを通じた投資教育の提供
- ・一人一人にオーダーメイドな投資アドバイスの提供

《第三者機関によるファンド分析》

公正・中立的視点に立ったファンド分析情報の提供

日米の確定拠出年金の残高推移

(単位:兆円)

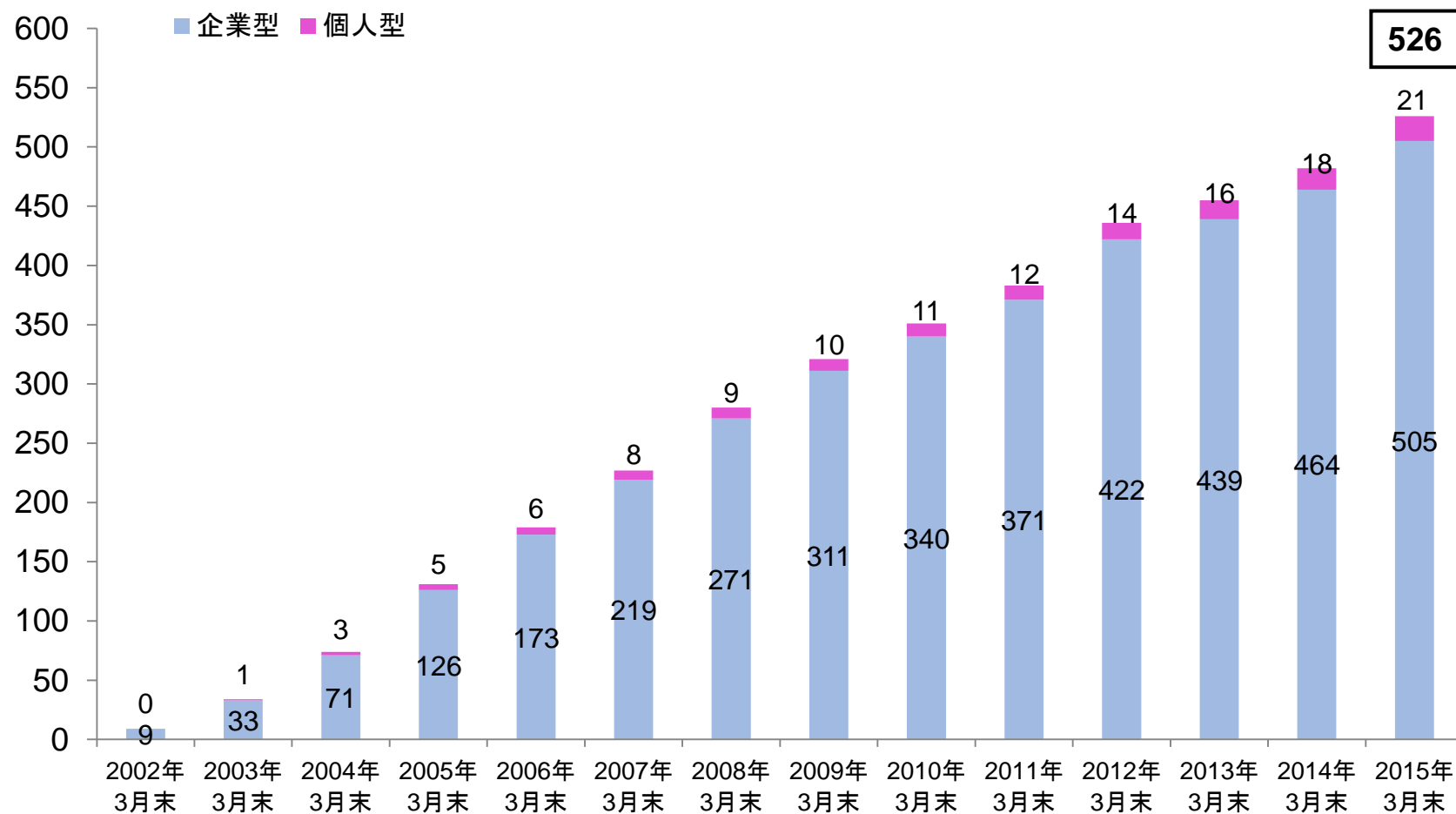


出所: 米国=ICI(投資会社協会)、日本=運営管理機関連絡協議会「確定拠出年金(企業型)の統計概況(平成27年3月末現在)」

1\$=120円で換算

確定拠出年金加入者の推移(企業型+個人型)

(単位:万人)



出所:厚生労働省 確定拠出年金制度

確定拠出年金法の改正で 拡大の可能性が高まるマーケット

《企業年金の普及・拡大》

- ・事務負担等により企業年金の実施が困難な中小企業(従業員100人以下)を対象に設立手続きを緩和した「簡易型DC」を創設。

《ライフコース多様化への対応》

- ・個人型DCについて、3号被保険者(専業主婦)や企業年金加入者、公務員共済加入者も加入可能とする。

《DCの運用の改善》

- ・運用商品を選択しやすいう、継続投資教育の努力義務化や運用商品数の抑制等を行う。
- ・あらかじめ定められた指定運用方法に関する規定の整備を行うとともに、指定運用方法として分散投資効果が期待できる商品設定を促す措置を講じる。

「マネールック」を活用して確定拠出年金と 職域NISAを一体化した資産管理ツールを提供

MoneyLook™

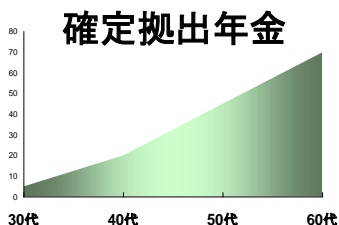


企業の従業員

非課税口座の一元管理

名称	基準価格または時価 (円)	更新/作成日付
ニッセイ 日経225インデックスファンド	16,323	1/23
外国株式インデックスe	16,615	1/23
外国債券インデックスe	12,719	1/23
eMAXIS 新東国株式インデックス	12,871	1/23

確定拠出年金 <800万円>	Aファンド 500万円 Bファンド 300万円
NISA <500万円>	Cファンド 200万円 Dファンド 300万円



長期の非課税メリット

各運営管理機関の
口座情報を収集



5年間の非課税メリット

各金融機関の
NISA口座情報を収集

モーニングスターの投資教育 & 投資助言サービス

